

作成日：2003年03月28日
改訂日：2017年06月02日
改訂日：2022年05月20日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

製品コード

供給者の会社名称、住所及び電話番号

緊急連絡電話番号

FAX番号

担当部門

メールアドレス

推奨用途及び使用上の制限

ビッグブルー

RT106 (0.3L)、RT100S (0.95L)
RT100G (3.8L)

アサダ株式会社

名古屋市北区上飯田西町3-60

052-911-7165

052-911-7165

052-914-2062

営業本部

sales@asada.co.jp

各種ガスの漏れ検査

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

健康に対する有害性

環境に対する有害性

GHSラベル表示

GHS分類に該当しない他の危険有害性

区分に該当しない、分類対象外または分類できない

区分に該当しない、分類対象外または分類できない

区分に該当しない、分類対象外または分類できない

区分に該当しない。

情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分

混合物

化学名	濃度 %	官報公示整理番号	CAS No.	TSCA	EINECS
1, 2-プロパンジオール (C ₃ H ₈ O ₂)	2.45	2-234	57-55-6	登録あり	200-383-0
ポリエチレングリコール (C ₂ H ₄ O) _n H ₂ O	0.18	7-129	25322-68-3	登録あり	500-038-2
牛脂アルキルアミン	0.15	2-133	61790-33-8	登録あり	263-125-1
シュクローズ脂肪酸 エステル	0.97	8-67	91031-88-8	情報なし	292-993-4
N-オレオイルサルコシン (C ₂₁ H ₃₉ NO ₃)	0.55	9-1930, 2-2679 2-1226	110-25-8	登録あり	203-749-3
イミダゾリン (C ₃ H ₆ N ₂)	0.25	—	504-75-6	登録あり	207-999-4
N, N-ジメチルドデシルアミン N-オキシド (C ₁₄ H ₃₁ NO)	0.77	2-198	1643-20-5	登録あり	216-700-6
N-ラウロイルサルコシン ナトリウム (C ₁₅ H ₂₈ NNaO ₃)	0.55	2-1226	137-16-6	登録あり	205-281-5
水 (H ₂ O)	残り	—	7732-18-5	情報なし	231-791-2

4. 応急処置

吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること 直ちに医師に連絡すること 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を石鹸や水で洗い、ぬるま湯ですすぐこと 皮膚刺激または発疹が生じた場合は医師の診察/手当を受けること 直ちに医師に連絡すること
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと、その後も洗浄を続けること 直ちに医師に連絡すること
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと 直ちに医師に連絡すること
急性症状及び遅発性症状 応急措置をする者の保護 医師に対する特別な注意事項	通常の使用条件下では、重大な危険をもたらすとは考えられない。 情報なし 情報なし

5. 火災時の措置

適切な消化剤	泡、水噴霧、二酸化炭素、粉末消火剤、砂
使ってはならない消化剤	強い水流を使用しない
火災時の特定の危険有害性 特有の消火方法	情報なし 水噴霧を用いて容器を冷却する。消火用水が周囲に漏れないようにする
消火を行う者の特別な保護	適切な空気呼吸器、化学用保護具を着用する

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	密閉された場所に立ち入る前に換気すること 適切な空気呼吸器、防護服を着用すること 関係者以外の立ち入りを禁止すること 風上から作業をすること
環境に対する注意事項	下水道や公共水域への侵入を防ぐ。液体が下水道または公共水に入った場合は、関係局に連絡する
封じ込め及び浄化の方法・機材 二次災害の防止策	乾燥砂、土、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	適切な保護具を着用して作業する 取扱いは換気のよい場所で行う
安全取扱い注意事項	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと 取扱い後はよく手を洗いうがいをすること 蒸気の発生を防ぐため、十分な換気を確保する 適切な空気呼吸器、防護服を着用すること 目、皮膚、衣服との接触を避けること 飲み込まないこと 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気を吸入しないこと

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、換気の良い場所に保管（5～42℃）する
容器を密閉し、火気、熱源より遠ざける。
強酸化剤などの混触危険物質から離して保管する

8. ばく露防止および保護措置

許容濃度

情報なし

設備対策

排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする
取扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄用の設備を設ける

保護具

呼吸気用保護具

換気が不十分な場合は、適切な呼吸保護具を着用すること

手の保護具

適切な保護手袋を着用する

眼、顔面の保護具

眼、顔面用の保護具を着用すること

皮膚及び身体の保護具

保護衣、安全靴などの保護具を着用すること

9. 物理的および化学的性質

物理的状态

液体

色

青色

臭い

特異臭

凝固点

0℃以下

沸点、初留点及び沸騰範囲

100℃以上

可燃性

なし

爆発下限界および爆発上限界

データなし

可燃限界

データなし

引火点

なし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

7～8

動粘性率

データなし

溶解度

水に可溶性

n-オクタノール／水分配係数

データなし

蒸気圧

データなし

相対密度

1.04 g/ml以下

相対ガス密度

データなし

粒子特性

データなし

10. 安定性および反応性

反応性

情報なし

化学的反応性

情報なし

危険有害反応可能性

強酸化剤と反応し、発熱、発火する可能性がある

避けるべき条件

直射日光、極端な高温または低温

混合接触危険物質

強酸化剤

危険有害な分解生成物

ヒューム、一酸化炭素、二酸化炭素

1 1．有害性情報	
急性毒性	分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性・眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回暴露）	区分に該当しない
特定標的臓器毒性（反復暴露）	分類できない
吸引性呼吸器有害性	分類できない
誤えん有害性	分類できない
1 2．環境影響情報	
生態毒性	生分解性(28日間)
残留性・分解性	土壌中で生分解性、水中はデータなし
生態蓄積性	データなし
土壌中の移動性	動植物に無毒
オゾン層への 有害性	影響なし
1 3．廃棄上の注意	
残余廃棄物	関連法規ならびに地方自治体の基準に従って安全な方法で廃棄すること 環境への放出を避ける
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること 空容器は地域の条例に準拠してリサイクル、再利用または廃棄する
1 4．輸送上の注意	
国際規制	
陸上輸送	DOTに準拠、危険物ではない ※DOT：US Department of Transportation（アメリカ運輸省） ADR 輸送書類に記述 ※ADR：危険物国際道路輸送に関する欧州協定
海上輸送	情報なし
航空輸送	情報なし
国内規制	
陸上輸送	非該当
海上輸送	非該当
海上輸送	非該当

1 5. 適用法令

国内

労働安全衛生法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
貿易管理令	非該当

米国

有害物質規制法 (Toxic Substance Control Act)	3. 組成及び成分情報参照
--	---------------

カナダ

作業場危険有害性物質情報制度 Workplace Hazardous Materials Information System(WHMIS)	非該当
---	-----

EU

CLP規則 Classification according to Regulation (EC) No.1272/2008 (CLP)	分類できない
危険物質指令 Classification according to Directive 67/548/EEC or 1999/45/EC	分類できない

1 6. その他の情報

危険・有害性の周知徹底基準

NFPA 健康に対する有害性	0：火災条件下での暴露は、通常の可燃性物質以上の危険はない
NFPA 火災危険度	0：燃焼しない物質
NFPA 反応性	0：火災暴露条件下でも通常安定、水との反応性はない
NFPA 特定危険有害性	なし
※NFPA：National Fire Protection Association(全米防火協会)	
HMISⅢ 健康	0：危険性最小
HMISⅢ 可燃性	0：危険性最小
HMISⅢ 物理的危険性	0：危険性最小
※HMISⅢ：Hazardous Materials Identification System(危険有害性物質識別システム)	

記載内容は現時点で入手できる資料データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。注意事項は通常の取扱いを対象とし、また記載内容は情報提供であって保証するものではありません。危険・有害性の評価を絶対視することなく、取扱いには十分注意して下さい。